The Heart Times

医療法人社団慈弘会
内科・循環器　ハートサウンズ
もりクリニック
〒080-0028
帯広市西18条南3丁目1-21
TEL 0155-58-5077
http://www.jikoukai.org/

シリーズ　第5弾　逢いたい人

田岡セツ子さん

心に安らぎをもたらす
白木蓮のような母

「唄の発表会は大成功のうちに終わりました」と出迎えてくださった田岡セツ子さん（七十三歳）。「ひまわりの会」に所属し、現在も老人ホームなどを慰問し、迫力ある歌声で観客に元気を与えています。

八月二十八日に帯広文化ホールで開催された「帯広優交友の会　唄と踊りの集い」では、その発表を終えたばかりで、その余韻を残しながらの取材となりました。

高知県土佐市出身の田岡さんは、五人兄妹。父親の仕事の関係で帯広へ移り住む。病弱だった田岡さんは、明星小学校入学後に肋膜炎を患い、入院と自宅療養で一年後に復学。幼少期より帯広合唱団に入団、唄うことを楽しみを知る。渡辺女学院に進学してからは、洋裁や編みものを身につけ、今でも舞台衣装は自分でアレンジを加えています。

「唄はね、ボケ防止よ。歌詞を暗記しないとだめ。舞台では歌詞を見ながらは歌いたくないでしょ。歌いたいからは歌詞を見ないでしょ。舞台では歌詞を暗記しないとだめ。歌詞カードが貼られてあり、部屋のあちこちに浮かびます。学ぶ努力の姿には、いかにらねー」

二十一才で結婚、釧路で新婚生活を送っていましたが、一人娘が八歳のとき、最愛の夫が交通事故で帰らぬ人に…。再び帯広に戻り、資格ある仕事をしようと決心。自衛隊内で電話交換の実務経験を積み、電電公社へ転職、その後十八年間勤務しました。

「父親がいなくても娘を立派に育てたい」「立派な結婚式を出してやりたい」と仕事に精を出しましたが、無理がたたったのか、鼓膜が破れてしまい、片耳が聞こえなくなってしまいました。

それでも懸命に働く母の姿をみて、中学生は、お小遣いを貯め、花好きの母へ〝ハクモクレン〟の苗木をプレゼントしました。

娘をお嫁に出し、四〇歳で再び好きな唄を始め、趣味の花や釣りを楽しみ、第二の人生を謳歌していたころ、再び悲しい出来事が襲います…。

八歳になった孫娘へと旅立った二度目の悲しみをどうかな空へと旅立った二度目の悲しみをどう乗り越えていけばいいのでしょうか…。

大切な家族を失ってしまったのです。大好きな花や釣りを楽しみ、第二の人生を謳歌していたころ、再び悲しい出来事が襲います…。

八歳になった孫娘へと旅立った二度目の悲しみをどう乗り越えていけばいいのでしょうか…。

大切な家族を失ってしまったのです。**大好きな花や釣りを楽しみ、第二の人生を謳歌していたころ、再び悲しい出来事が襲いました。**

学生それでも懸命に働く母の姿をみて、中学生は、お小遣いを貯め、花好きの母へと育った娘は、〝ハクモクレン〟の苗木をプレゼントしました。

岡田さんは以前から庭先にハクモクレンが大好きでした。

見守る夫・父親のような大きな存在へと。

なっていきました。

庭先の幼いハクモクレンは家族の歩みとともに大きく生長し、現在は孫娘の眠るお寺で田岡さん家族を見守っています。また来春も天に向かって咲き誇ってくれることでしょう。

健康診断の結果は？

健康診断を受けていますか？

生活習慣病の早期発見・治療のため、一年に一回は健康診断を受けましょう。

そしてその結果を見て見ぬふりではなく、しっかりフォローをしましょう！

受診するときは、健診結果表を持参することをオススメします。

当院は健診フォローにも力を入れています。

子ども水痘ワクチン
高齢者肺炎球菌ワクチン

十月より定期接種となります。

接種費用の助成は市町村ごとに異なりますので、広報誌などでご確認ください。

当院では予防接種の予約を始めています。

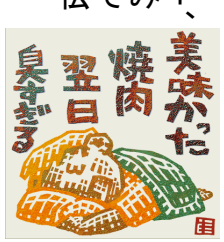
詳細はお気軽にお問い合わせください。

あとがき

弥生町内会発足三〇周年記念の野遊会が九月七日（日）十一時から柏南第一児童公園で開催されます。（※雨天時　九月十四日へ延期）

私たちもお誘いいただき、二名参加します。

焼肉やスイカ割り、バザー、餅まきなどなど、お楽しみがいっぱいです。

第六号では、その模様を楽しくお伝えしたいと思いますので、次号も乞うご期待！

ダイナマイト・ミカ